



代表取締役の田中氏 キャベツ収穫の様子

経営概要

株式会社 田中ライス

- ◆代表者・所在地
田中 弘樹 三重県津市
- ◆設立
令和7年4月
- ◆経営規模
水稲 47ha, ダイコン 1.6ha, ハクサイ 20a, キャベツ 20a
- ◆従業員数
常時雇用2名、パート・アルバイト2名
- ◆事業内容
水稲を中心に、野菜の生産をする複合経営に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

令和4年に父から経営継承を受けた後、妻と両親を雇用で受け入れ、水稲及び露地野菜の栽培に取り組んでいる。

近年、近隣生産者の高齢化に伴い、地域の農地を請け負いながら経営規模を拡大してきた。今後も規模拡大を続ける意向があるが、高齢化により両親が農作業に従事できなくなり、労働力が不足することが考えられる。

雇用を拡大し、今後の経営を考えるにあたり法人化を検討していたところ、普及指導員から三重県農業経営・就農支援センター（以下「支援センター」という。）の紹介を受けて、相談した。

2 相談内容

両親の高齢化により、既に母は農作業に従事しておらず、父も将来的には従事できなくなることを考慮すると、労働力の確保が課題である。

外部から労働力を取り入れやすくするために、**法人化したい**。また、**今後の雇用に向けて経営内容を整理したい**。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

法人化及び労働力確保に向けた経営改善支援のため、支援チームを編成し、専門家による経営分析をもとに、今後の支援計画等を策定した。

■専門家派遣を通じた支援の実施

普及指導員が中心になり、相談者と法人化の検討会開催提案及び日程調整を行った。

そして、**農業経営アドバイザー、支援センター専属スタッフ、普及指導員とともに、相談者との意見交換、疑問点・課題の整理を行い、法人化に向けた支援を行った。**

・法人化への助言（農業経営アドバイザー）

法人形態や法人化のメリット・デメリット、法人設立の手順について助言を行った。

・労務管理の整理（農業経営アドバイザー）

現状把握として、栽培作目ごとの収益、労働状況の見える化に係る支援を行った。

・事業計画策定支援（農業経営アドバイザー）

整理した収益、労働状況を基に、今後5ヶ年の収支計画、設備・機械の更新計画等の作成支援、将来の経営方針、雇用計画の考え方について説明や助言を行った。

支援チーム構成員：農業経営アドバイザー、農業経営・就農支援センター専属スタッフ、普及指導員（経営管理担当、品目担当）



相談者と農業経営アドバイザー、普及指導員との法人化検討会

■ 支援を受けて・・・

専門家からの助言を受け、**法人化に関する疑問点が解消され、進め方の理解が深まった。**

また、労働力確保に向けた準備に当たって、現在の**自身の働き方**を見える化し、**改善の方向性を検討することができた。**

■ 今後の展開

就業環境を整備しつつ、父のリタイアを見据えて常時雇用者を募集していく。

また、見える化した作目別収益や労働状況を踏まえて、**主力品目に重点を置いた作業体系を考慮した経営計画を立て、経営改善を図っていく。**

作目・作型別粗利整理表及び収支計画

喜びの声

労働時間や効率、農作物の収益は、今までぼんやりとしか把握できていませんでした。支援を受けて、見える化できたことで明確に把握することができました。

将来、息子が農業に興味を持ってもらえるような働きやすい環境・安定した経営を目指していきたいと思います。

専属スタッフ所感

法人化支援にあたっては、栽培品目別や作作品種別に経営状況を数値化して意見交換を行いました。相談者が徐々に理解を深めていく様子が伺えて、有意義な取組となりました。

将来的に経営をご子息に繋いで持続的な営農ができるよう、がんばってください。応援しています。

<支援機関> 三重県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】 三重県農林水産支援センター

住 所：三重県松阪市嬉野川北町530番

電話番号：0598-48-1225（経営相談）
0598-48-1226（就農相談）

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00



三重県農林水産支援センター外観

三重県の農業を担う人材を幅広く確保し育成していくために、三重県が経営及び就農相談等の機能を担う体制を整備し、総合窓口として各市町や関係機関・団体と連携を図りながら、担い手の確保や農業経営体等の育成に向けた様々な支援を行っています。